西表島顔認証システム導入事業｜株式会社ジェイフロンティア

2026/03/27

目的：顔認証システム導入による利便性の向上とデータ取得

- 顔認証システムによる乗降認証の導入により、既存のキャッシュレス対応では恩恵を享受できなかった高齢者や児童などの層の利便性の高い乗車体験を提供するとともに、これまで検証できなかった潜在的な利用データを取得、分析を行う。

事業内容：顔認証システムの導入とその有用性の検証

【交通サービスの高度化】

- 西表島において現金およびクレジットカード中心の決済手段の提供となっている路線バスと水牛車に顔認証システムを導入。
- 路線バスでの移動から、水牛車の乗車まで顔認証によるシームレスな利用ができるセット券の造成。

【モビリティデータの取得・活用】

- 高齢者や児童の公共交通利用状況のデータが取得できるようになり、路線バス運賃補助等自治体の補助事業について、乗車実績確認として利用データの活用を決定。

【地域交通政策等の連携】

- 顔認証システムを用いた乗降認証の有用性について、交通事業者・自治体ともに確認。高齢者および通学目的での路線バスの利用について意見交換を実施。

効果

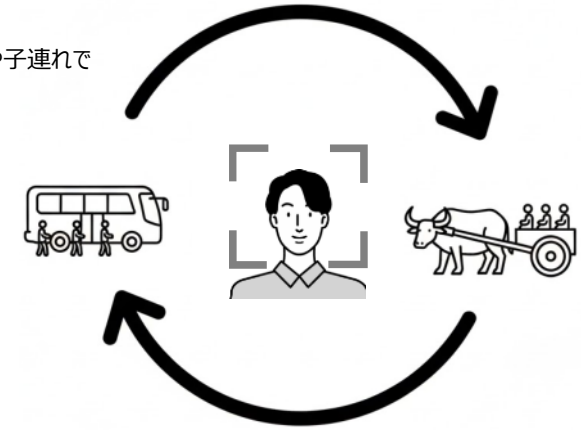
- 課題：地域住民の公共交通機関の利用にあたり、携帯端末、クレジットカード等を常時携帯できない層を取り残さない取組みが求められていた。
- 効果：顔認証システムに31人の利用登録を頂き、携帯端末、クレジットカードを保持していなくとも、事前登録によって高齢者や児童が利用できる仕組みが整備できた。

【実施エリア】



【本事業の取組の全体像】

・**認証時間短縮**（1秒以内）
・スマートフォン等の取り出し不要、荷物や子連れで
両手がふさがっていても認証可能
・**なりすまし、不正利用防止**



乗車時端末



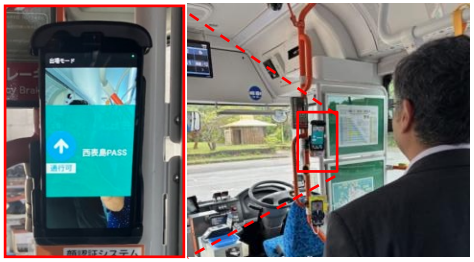
降車時端末



【顔認証システム（利用者側）の画面】



【バスに設置した端末での顔認証の様子】



MLIT
Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

プロジェクトの効果

課題に対する効果

#	課題	効果
1	多様な運賃支払方法が混在していることで、乗降車時間の延長による定時運航への影響や乗務員の負荷増加が問題となっていた。	顔認証システムの導入により、乗務員の乗客対応が半分以下となり、乗降車時間の短縮に繋がったというヒアリング結果を得られた。
2	地域住民の公共交通機関の利用にあたり、携帯端末、クレジットカード等を常時携帯できない層を取り残さない取組みが求められていた。	顔認証システムに31人の利用登録を頂き、携帯端末、クレジットカードを保持していなくとも、事前登録によって高齢者や児童が利用できる仕組みが整備できた。
3	路線バスと水牛車の乗り継ぎが時刻表の問題や、団体客利用時の混雑によりスムーズな利用が困難な時間帯もあり水牛車運用の改善が求められていた。	専用レーンを設けることで、混雑時の待ち時間がほぼなくなりスムーズな利用を実現できた。

KPI

【凡例】 赤字:目標達成　青字:目標未達成

#	測定項目	KPI	計測方法	計測頻度・回数	事業実施年度の目標値	最終結果	達成/未達成の原因
1	顔認証システム利用者の増加	顔認証システム登録数	利用データの取得	事業年度末にとりまとめ	30人	31人	達成:現地販促を実施することで登録推進ができたため
2	路線バス～水牛車乗継ぎの利用者増加	乗継ぎ利用者数	利用データの取得	事業年度末にとりまとめ	30人	5人	未達成:観光客向けの訴求が不十分であったため
3	顔認証システム導入による満足度向上	顔認証システム利用満足度	利用者アンケート調査	事業年度末にとりまとめ	90%以上	100%	達成:端末等を取り出す必要がなく、忘れる心配もないという点が評価されたため
4	顔認証システム、データ、分析等の有用性	交通事業者、自治体職員の満足度	事業者アンケート調査	事業年度末にとりまとめ	満足度評価75点以上	80点	達成:これまで取れなかったデータが取得できるようになるという点が高く評価された
5	乗降車時間の短縮	乗降車時間の短縮効果の有無	事業者アンケート調査	事業年度末にとりまとめ	影響度4以上（5段階評価）	影響度3（5段階評価）	未達成:ある一定数以上普及しなければ全体に効果がそこまで出ないため

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.